

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 中山間地域等担い手育成支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部農業経営課担い手対策室経営体強化育成係 電話番号：058-272-1111 (内 2847)

E-mail：c11419@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 31,000千円 (前年度予算額：50,000千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	50,000	7,500	0	0	0	0	0	0	42,500
要求額	31,000	6,000	0	0	0	0	0	0	25,000
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

農地の受け手となる担い手の生産性向上や競争力強化のためには、担い手への農地集積・集約化を推進し、生産コストを削減していく必要がある。

特に中山間地域においては、担い手が不足するとともに、農地条件が不利であることから、担い手への農地集積が進まない状況である。

このため、中山間地域の担い手となる集落営農組織の育成や、農地集積を推進するモデルとなる地域を設置し、当該地域への重点的な支援による担い手育成と担い手への農地集積・集約化を進め、その取組内容を県下他地域へ波及することで、県全体での事業推進を図る。

(2) 事業内容

集落営農や認定農業者等の担い手に対して、経営の安定・強化、雇用労働環境の整備など、経営改善に資する機械・施設整備に係る経費を助成。

・ 事業主体：市町村

・ 補助率：1 / 2 (上限 5,000 千円、10,000 千円)、1 / 3 (上限 3,000 千円)、定額 (上限 4,000 千円)

(3) 県負担・補助率の考え方

県 1/2、1/3、定額

中山間地域における担い手育成及び農地集積は、県農業を維持・発展するために必要であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	31,000	・集落営農組織等の経営の安定・発展に資する機械・施設整備に係る経費を助成。
合計	31,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略、ぎふ農業・農村基本計画、岐阜県農業経営基盤強化促進基本方針、岐阜県農地中間管理事業の推進に関する基本方針、担い手育成プロジェクト 2000

(2) 後年度の財政負担

中山間地域における集落営農組織の育成により、県農業の将来にわたる担い手の確保が図れる。また、担い手への波及効果が期待できることから、継続的な財政負担が必要である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	中山間地域等担い手育成支援事業費補助金
補助事業者（団体）	市町村、農業協同組合、国立大学法人 （理由）要領に基づき市町村等が実施
補助事業の概要	（目的）多様な担い手の確保 （内容）地域の担い手等の経営安定や経営発展に必要な機械・施設整備まで、担い手育成の取組みを総合的に支援。中山間地域の限定メニューや優先採択の設定など、より中山間地域支援を明確にした事業とする。
補助率・補助単価等	定額 ・ 定率 ・その他（例：人件費相当額） （内容） 1 / 2、1 / 3、定額 （理由）中山間地域における担い手育成及び農地集積を推進するため
補助効果	担い手育成及び農地集積に取り組むモデルの横展開により、担い手への農地集積を推進
終期の設定	終期 令和 7 年度 （理由）ぎふ農業・農村基本計画の目標年度

（事業目標）

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

中山間地域における集落営農組織の育成及び担い手への農地集積を推進することで、担い手の育成確保を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H27年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
① 新たな担い手の確保	330	検討中	検討中

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	千円				(要求額) 31,000千円
指標①目標	/				(R3目標) 検討中
指標①実績	/				(推計値) —
指標①達成率	%				(推計値) — %

指標②目標					(R3 目標) —
指標②実績					(推計値) —
指標②達成率		%			(推計値) — %

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	担い手が不足する中山間地域の集落営農の育成とともに、本県の零細な農業者の競争力強化を図るには、担い手への農地集積による生産性向上及び経営力強化が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

<p>継続・削減・統合・廃止 (理由)</p> <p>中山間地域は未だに担い手が不足しているため、より中山間地域に配慮した事業として継続する。</p>
--